

守大助さんと、祐子(母)さんから手紙が届きましたので紹介いたします。

・七夕に「再審開始」の  
願いを込めて・

皆さん、お元気でおすごしでしょうか。  
私の留学生活も早いもので一年が経ちました。  
この一年で、「布川再審開始」が高裁でも！  
勝利し、そして先月4日、「足利事件・菅家  
さんが無実として釈放」されました。

今の私にとって、とても大きな希望の光です。  
負けられません。私は、ガリレオがそれでも  
地球は回っていると言いつづけたように、  
"絶対に筋弛緩剤を混入していない、事件  
じゃない"と堀の中から訴えつづけています。  
再審開始を勝ち取るため、頑張ります。  
'私の人生を返してほしい！'

「再審の扉」を開くために、今後どう  
かご支援ご指導を宜しくお願い致します。  
これからが、夏の本番です。  
お身体にお気をつけ下さい。  
09.7.4(土)(3092日目) 無実の大助



拝啓

7月に入りましたものの、まだ明けぬ梅雨には、少々気も  
ふさがちな今日この頃です。皆さまにおかれましてはお元  
気でお過ごしのことと存じます。

いつも、息子に励ましのお手紙、お心遣いをいただきあり  
がとうございます。

お手紙をいただいている皆さまに息子より感謝のメッセー  
ジが届きましたので同封いたします。

昨年、7月9日の私に誕生日に、突然千葉に移送され、心  
の準備もなくどんな過酷な待遇が待っているのか不安を抱い  
て行ったのかと思ったことが昨日のように思われます。

今年の誕生日メッセージの中に、「まさか母さんの誕生日  
に移送されるなんてビックリでした。あれから一年になる、  
今年は留学先から鹿島台に向けて"オメデトウ"を飛ばしま  
す。いつになったら、本当にお祝いしてやれるか"など悔し  
さと憤りが書かれてありました。

息子が一針一針心を込めて造った紳士靴が最近、刑務所売  
店に陳列され15,000円で販売されているそうです。

「どなたが履いてくれるのか分からないけれど、この靴を造  
った人は無実なんだと全国の人に広げてほしい」と願いごと  
が強く書かれておりました。

息子は必死に再審へ向けて裁判資料を再読し、矛盾を見つ  
けては弁護士先生に連絡し頑張っております。

守る会も今年は札幌・九州と広がり、現在立ち上げ準備を  
始めてくださってる所もあります。

無実の息子を取り戻すまで頑張りますのでどうか今後とも  
ご支援ほどを宜しくお願い申し上げます。

梅雨明けを心待ちにする毎日、どうかお元気にお過ごし  
ください。

09・7・10

守 祐子



大！  
一関支部が四名の会員拡  
—中央委員会の訴えにこたえ—

一関支部は、本年一月三  
一日鈴木会長の講演を初め、  
六月二十日ののびのび選挙  
学習会、六月二十一日千厩班  
でのびのび選挙学習会を開  
きました。  
その中で、  
ピラ配布弾圧や選挙干渉  
に対する警戒心を怠らず  
「80問80答」を学習して確  
信を深め、のびのびと活動  
することを確認しあいまし  
た。  
街頭宣伝では、特別、警  
察の許可はいらぬことに  
確信を持ち、交通の妨害に  
なっていないとして、毅然  
と抗議すること。警察から  
質問されたり同行を求めら  
れた時には、行く必要がな  
いときっぱり断り、その場  
から直ちに立ち去り、支部  
や弁護士に報告すること。  
万一逮捕された時には、住  
所や氏名を含め完全黙秘し、  
国民救援会の弁護士を呼ぶ  
ように要求し、書類への署  
名押印は拒否すること、な  
どを学習しました。  
(救援新聞・一関版)  
こうした、選挙本番のた  
めの会議や学習会と併行し  
て、一関支部は四名の会員  
拡大を行いました。  
これは、県内の他支部に  
も大きな勇気と確信を与え

いよいよ民間パトロールの  
出番です！  
—のびのび選挙がはじまる—

選挙が間近になると警  
察が革新系の票つぶしに暗  
躍し始める以上、これを粉  
砕することなしに、選挙闘  
争に勝利することはできま  
せん。いままで国民救援会  
が中心になって民間パトロー  
ルを実施し、国民の「選挙・  
政治活動の自由」を守りぬ  
き、官憲による「干渉・弾  
圧」を未然に防止するなど、  
みごとに勝利しました。

06年度の県本部民間パトロール



てくれるものです。  
中央委員会に向けてひき  
つづき、とりくみを強めて  
行くことではありませんか。